

政策対話（林務部）の概要

1 テーマ

「長野県森林づくり県民税」（以下、「森林税」という）の認知度向上について

2 実施概要

(1) 日 時

令和5年11月24日（金）15時から17時半まで

(2) 場 所

長野大学（上田市下之郷 658-1）

(3) 参加者

参加者：14名（長野大学環境ツーリズム学部環境ツーリズム学科の学生）

県側：4名（森林政策課長、若手職員）

3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和6年度当初予算への反映
1 森林税の広報の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも“税金”に関心がない ・森林税の成果・県民への還元が分かりづらい ・広報媒体が偏っている（デジタルで見たことがない） ・リーフレットの情報量が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林税の成果、県民の方への還元が分かるよう、使途や効果を示した広報を実施してまいります。 ・デジタル媒体等でのシンプルでわかりやすい広報を実施してまいります。 ⇒動画広告掲載、ポスターの制作等 ・市町村と連携し、幼い頃から木を大事にする意識を醸成する取組を検討してまいります。 	<p>政策対話後早急に、森林税活用事業の現場等に掲示するマグネットシートと、街中で森林税を知る機会を作るためのポスターを制作しました。</p> <p>令和6年度当初予算には、令和5年度中に制作した動画やポスターを街中に掲示するための予算等を計上しています。</p> <p>みんなで支える森林づくり推進事業 【6,572千円】</p>
2 森林税の認知度向上に有効な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・税の名称よりも使途を前面に出した広報 ・森林税の前に、森林に興味を持ってもらう（教育機関との連携） ・年代別にターゲットを絞った広報 ・文章よりシンプルに写真で見せる広報 ⇒動画、広告掲載、ポスターなど ・記念品（県産材製品）の配布により木を大事にする意識を醸成 		